



はくちょう
白鳥
(羽曳野市)

武勇の持ち主であったヤマトタケルノミコトは、東国の蝦夷(えみし)を征服した後、悲運の最期を迎えた。ミコトを葬ったところ、白鳥に姿を変えて羽曳野に降り立ちその後、丘の上を羽を曳くように飛び去ったといわれている。

白鳥



鶴橋
(大阪市天王寺区・生野区・東成区)

大阪市内にある鶴橋駅は、JR環状線、近鉄、地下鉄が交差する乗換駅。焼肉店や韓国料理店が多く、キムチなどの韓国食材や鮮魚などがそろうマンモス市場も有名。`ヨン様、ブームでコリアン文化はますます元気いっぱいだ。



憲法 守り生かす

2005年のテーマ



岸和田を歩く平和行進



2004 World Conference against A&H Bombs
原水爆禁止2004年世界大会-広島

いま、核兵器の廃絶を — ヒロシマ・ナガサキをくりがえすな



「九条の会」発足記念大阪講演会



ピースカフェの「茶色の朝」の一場面



「9条まもろう」写真展

昨年府下でとりくまれた数々の平和行動を写真でふり返ります。



ライフスタイルにピースな魂をもち

富田市市職労
中尾 杏奈さん

平和と一言と言っても、とてもたくさんのニュアンスがあり、人それぞれの感じ方があります。わたし自身「平和」を求める活動を通して、色々な平和感を知り、感じてきました。いま、「音楽」を通して平和のことを考えようという趣旨で音楽イベントを開催しようと取り組んでいます。イベントの名前は『瞬花終闘(しゅんかしゅうとう)』で、昨年10月の第1回では、戦争反対をテーマに開催しました。そして、今回の第2回目は05年2月20日に行います。イラク戦争や北朝鮮問題、さらには国内での災害を通して感じる命の尊さや、様々な視点から平和を感じ、考えるきっかけになる場にしようと考えています。今回は、レゲエ、ヒップホップを中心にしたクラブイベントになります。平和・音楽に興味のある方は参加してください。ライフスタイルの一部にピースな魂を持っているという気持ちがあるだけで、立派な平和活動だと、わたしは思います。これからも、色々な場所で「平和」の大切さを伝えていきたいと思っています。



「平和」「環境」、みんなで考え、行動

大阪市労組
八尾 高志さん

職種や組織や性別が違って「平和」や「環境」をテーマに話し合い、自分たちに何が出来るかを考え行動しようと、大阪で働いている青年が集まってできたのが「ピース・カフェ」です。この間、アメリカが行った無法なイラク戦争を考えようと報道写真家の久保田弘信さんに「報道されないイラク戦争」を語ってもらったり、「さとうきび畑の唄」DVD鑑賞会や弁護士梅田章二さんを招いての憲法学習会なども開催しました。仕事の話、家庭の話、身近な話、疑問に思っていることなど何でも話せる場として定期的に集まっています。また、平和のことを何か表現しようと、「茶色の朝」を題材にした劇を自分達で作りに上演してきました。昨年は、8月にあべのフェスティバルで、10月には東大阪市民祭りで上演し絶賛されました。これからも、平和はもちろん環境のことなど、みんなで考え行動に移していきたいと思っています。



イラク問題や憲法、語り合える場を

東大阪市職労
橋本 達明さん

昨年の8月広島原水爆大会に初めて参加しました。平和運動をしているNGOの人たちや年老いた被爆者の方から話を直接聞いて、平和の大切さを痛感しました。イラク中部のファルージャでは、米軍などが攻め込んで2千人をこえる犠牲者が出ていると言われてます。米軍は武力攻撃をすぐにやめるべきです。そして駐留している日本の自衛隊は、今すぐ撤退し、新潟中越地震やスマトラ沖地震の被災地救援にこそかけつけるべきだと思います。憲法について、古いとか、押しつけられたものとか言われていますが、軽々しく変えてほしくありません。憲法からズレルようなことをしているのが今の小泉政権です。平和を守り、憲法改悪を止めるために、みんなといっしょにがんばりたいです。僕なりに、イラクのこと、自衛隊のこと、憲法9条を守ることなどいろいろ考えます。今年は日頃からこんなことを気軽に語り合える場をつくっていききたいと思っています。



ベトナム戦争の傷あと伝えていこう

吹田学童保育指導員労組
川崎 みゆきさん

今のイラクの状況をマスコミをとおして見ているとベトナム戦争が頭をよぎります。小学生の時に会ったベトナムからの留学生が七夕の短冊に「はやくせんそうがおわりますように」と書いていたのを見て不思議な気持ちになりました。私がアメリカの高校へ留学中に会ったベトナム人のクラスメートが、アルバイトをしながら親戚の家に住み、英語を勉強しながら高校へ通っているという現実と遭遇し、それがアメリカの戦争への責任のとり方だと知って大きなショックを受けました。戦争中に多くの人が犠牲になる以外にももっとも多くの人が長い年月をかけて犠牲になっているという現実を見つめ、戦争を経験した人たちが私達に伝えたように私も周りの人にこのことを伝え、ひとりでも多くの人が平和について考えるきっかけになればと思います。みんなの平和や戦争に対する意識が高くなる事で子どもも大人も安心して過ごせる社会ができると信じています。